

直接注入とカラムスイッチング HPLC による 全血中の薬物分析

玉井 元, 今井日出夫

J. Pharmacobio-Dyn., 12, s-18 (1989) *Proceedings of the 8th Symposium on
Analy Chemistry of Biological Substances, September 22, 23, 1988, Nagoya*

Analysis of Drugs in Whole Blood by HPLC with Direct Injection and Column Switching

Gen TAMAI and Hideo IMAI

抄録 全血は、血球、蛋白質、各種内因性成分を含み、全血試料の直接注入分析においては、妨害成分の除去、除蛋白と蛋白結合分の回収、血球膜の処理と膜吸着分の回収などが考慮されねばならない。本報は、全血に添加した、リドカイン、プロカインアミド、カルバマゼピン等の薬物について、試料処理のための、プレカラム充填剤と、その処理法、分析カラムとのカラムスイッチングについて述べ、100%回収率で、良い精度をもって分析できる方法を提案している。